



おおばし

岩野田小学校

学校便り

令和6年10月1日 NO.7

「おおばし」の由来：岩野田小学校の昔の名称が大橋小学校（明治14年）



中学校区で取り組む あいさつ運動

毎年2回ほど、岩野田中学校の生徒が数名、小学校の登校時刻に合わせ、岩野田小学校と岩野田北小学校に来てくれて「あいさつ運動」を行っています。今年度は、9月12日（木）、13日（金）の2日間、7名の中学生が来てくれ、南門で挨拶をしてくれました。中学生のお兄さんやお姉さんが、とびきりの笑顔で大きな声で挨拶をしてくれるので、小学生の皆も、いつもより大きな声で挨拶を返すことができていました。

この「あいさつ運動」を機に、今、代表委員や委員会、各学年でも挨拶の取組を始めるところが出てきました。また、毎朝、自主的に校門のところに立って、挨拶をしてくれる子も出てきました。

挨拶は、人と人がつながるための最初の言葉です。特に朝の挨拶は、お互いに笑顔でできると気持ちがよく、「今日も頑張るぞ。」という思いになれるのではないのでしょうか？

また、自分から挨拶できることは、大人になった際、社会人として必要な力です。だからこそ、小さいうちから挨拶する習慣を身につけていきたいと考えます。今後も、挨拶できる子を育てるために、「あいさつ運動」

の取組を一過性で終わらせず、継続して、学校・家庭・地域で、連携して取り組んでいきたいと思ひます。



前期100日間のがんばり

早いもので、今年度の前期が終わろうとしています。この100日間で、子どもたちは、新しい知識をたくさん増やし、仲間との適切なかわり方を日々の生活の中で学ぶことができました。時には、学習や仲間との関わりの中で、うまくいかないこともあったと思いますが、それも含めて、人が成長するためには、必要な事だと考えています。保護者の皆様には、お子様が頑張れるよう常に支え、励まして応援していただき、ありがとうございました。

10月11日（金）の終業式には、「こどものすがた」を持ち帰ります。学校では、「こどものすがた」を一人一人に渡す時、お子さんの頑張った姿を言葉で伝えるようにしています。お子様が、「私は前期、〇〇を頑張った。〇〇ができるようになった。」と自信をもって話すことができるよう、学校でも声をかけていきたいと思ひます。その思いをもつことが、後期も頑張る気持ちにつながります。

しかし、どうしても、〇の数に気になってしまう子どもたちです。どうか、紙面上だけでは表しきれない、この100日間のお子様の頑張りを、ぜひご家庭でもたくさん見つけて、お子様に伝えていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。